

京都大学大学院教育学研究科
教育実践コラボレーション・センター企画
第64回 「知的コラボ」の会

大学教育を考える連続研究会 (2)

急激な社会の変化に伴い、大学教育の役割が問われ直されています。
京都大学でも、教育改革の議論が始まっています。そこで、本連続研究会では、
大学教育をめぐる研究的な知見に学びつつ、今後、求められる改革について考えます。

ミネルバ大学を解剖する —汎用的・分野横断的能力を中心に—

自前のキャンパスはもたず世界の7都市を回りながら学ぶ、授業はすべてオンラインのアクティブラーニングで行われる、世界で最もイノベーティブな大学に3年連続で選ばれた—。ミネルバ大学についての紹介はこんな耳目を引く言葉で溢れています。ですが、本当のところ、それはどんな大学なのでしょう。大学教育を研究する人間として、その全貌と実像を捉えたい。こういう思いから、私たちのグループでは、2019年以来、文献研究と調査を進め、昨年、コスリン&ネルソン編（松下監訳）『ミネルバ大学の設計書』、松下編『ミネルバ大学を解剖する』（ともに東信堂）を上梓しました。私たちが特に関心をもったのは、ミネルバが目標に掲げる汎用的・分野横断的能力が本当に育成可能なのか、ということです。学生の声をふまえながら検討した結果をお示ししたいと思います。

【日時】 2025年6月26日(木) 14:50～16:20

【場所】 教育学部本館 第1会議室

【話題提供】 松下 佳代 教授（高等教育学コース）

- 対象：京都大学の教職員・学生、教職員の紹介者
- 参加希望の方は、下記のフォームからお申し込みください。※資料準備の都合上、事前申込をお願いします。締切：6月25日（水）
<https://forms.gle/166fcDHwqf33fDx2A>
- お問い合わせ等は次のメールアドレスまでお知らせください。collabo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

